

建設業における仮設機材に起因する

死傷災害発生状況(19) ~平成26年発生の機材センターに関する負傷災害~

一般社団法人 仮設工業会 事務局

はじめに

本会においては、会報「仮設機材マンスリー」の平成25年10月号から、下記のとおり建設業における仮設機材に起因する死傷災害発生状況を掲載しています。

- (1) 平成25年10月号・災害の概要
- (2) 平成26年 1月号・平成22年・機材センター
- (3) 平成26年 2月号・平成22年・脚立
- (4) 平成26年 3月号・平成22年・梯子
- (5) 平成26年 4月号・平成22年・つり足場
- (6) 平成26年 5月号・平成22年・移動式足場
- (7) 平成26年 7月号・平成24年・死亡災害
- (8) 平成26年10月号・平成23年・機材センター
- (9) 平成26年12月号・平成23年・枠組足場
- (10) 平成27年 1月号・平成23年・移動式足場
- (11) 平成27年 2月号・平成23年・支保工
- (12) 平成27年 3月号・平成23年・アルミニウム合金製可搬式作業台・高所作業台

- (13) 平成27年 9月号・平成25年・死亡災害
- (14) 平成27年11月号・平成24年・機材センター
- (15) 平成28年 4月号・平成24年・枠組足場
- (16) 平成28年 5月号・平成26年・死亡災害
- (17) 平成28年 9月号・平成25年・機材センター
- (18) 平成28年10月号・平成25年・各種足場

今回の死傷災害発生状況は、平成26年における機材センターに関係すると考えられる負傷災害を、厚生労働省のデータベース（職場のあんぜんサイト）から抜き出し、仮設工業会事務局において作業内容、起因物等別に取りまとめたものです。厚生労働省のデータベースは、休業4日以上全事例のうち、災害発生時、作業内容等毎に、およそ1/4を無作為に抽出したのになっています。本災害発生事例を参考にして、仮設機材に関する同種災害の再発防止や教育等にお取組みください。

機材センター関係すると考えられる事例

1 トラックの荷台への積込み・荷降ろし作業時

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	資材センターでトラックに建材資材を積込作業中、金属製足場板（長さ3m、幅20cm、重さ10kg）2枚をフォークリフトのツメに積むため、二人で中腰で下にあった金属製足場板2枚を持ち上げた時、腰に激痛が走りその場で立てなくなった。
2	資材センターにて積込作業をしていた際、積荷の足場材が不安定な積み方をしていたことに気が付かず足をかけてしまい、バランスを崩して高さ1.8m位から落ちて両足で着地した後、勢いで左ひざを強打し前転した。
3	資材センターにて仮設材の設置作業中、荷物を固定するために荷物の上でレバブロックとワイヤーロープにて荷締めをしていた時に手がすべり、勢い余ってバランスを崩し後方へ尻から地面へ転落し、骨盤と大腿骨を骨折した。作業中はヘルメットを着用していた。
4	出先の資材置き場においてトラックに積込み作業の際、鉄板（1.5m×6m×8枚）を積み込んで途中コンビニにより荷物の確認をしていたところ、荷台の上で荷物に足をひっかけつまずいてバランスを崩し落下負傷した。
5	会社資材置き場で足場部材をトラックから降ろす作業中に、前日の雨で部材が濡れていたため、手が滑り右足の上に落下した。

6	工場資材置き場整理の時、鉄パイプを2 tトラックに積み込み完了後荷締の時、ロープがはずれ、荷物の100φで2 mの鉄パイプが落下。両側脛骨骨折した。
7	道具、資材置き場にて作業の準備のため、鉄板をトラックに積み込んでいた際、手が滑り鉄板で胸を打撲し左肋骨を骨折した。
8	会社資材置き場にて、トラックの荷台から敷鉄板を玉掛して吊り下ろしていたところ、敷鉄板がワイヤーにつながった状態で滑り、トラックのタイヤホイールと敷鉄板に右足すね下部が挟まれ、骨を粉碎骨折した。
9	資材置き場にてトラックに積んである資材（足場板）を降ろす作業中、板の上に居た際、ロープが緩み板がずれ、バランスを崩し、右腕から地面に落下、右腕・肘を負傷した。
10	解体工事の現場で使用した足場用丸太を資材置き場に積み下ろしする作業中の災害である。被災労働者が玉掛けをしようとしてバックホーの爪にワイヤーロープをくくりつけているときに、運転手が確認不足のままに先端部を作動してしまい、被災労働者の右手が上下の爪に挟まれて負傷した。
11	資材置き場でトラックに置きっぱなしの資材（当該トラックに置いてある資材は各現場から持ち込まれた資材であり、被災の原因となった資材がどの現場のものであるかは不明）を降ろそうと、トラックのラックの上にいる作業員から支柱（長さ900mm、重さ5kg）をトラックの下で受け取ろうとしたときにつかみ損ねて、支柱のコマが左顔面にぶつかり負傷した。前歯3本が内側に陥没。頬骨を骨折し顎からも出血した。
12	資材置場にて積載形トラッククレーンを使用してトラックから型枠材を下ろしていた際、60cm程の段差上で手元として作業。その際吊り荷が前後左右に揺れ衝突を避けるために段差から地面に着地しようとしたところ、踏み外して転倒し地面にあった他材にあたり負傷した。
13	資材置場内でパイプの積み降ろしをしている時、足をつまずき右手から転倒し右腕の付根を骨折した。
14	仮設材が置いてある資材置場にて、トラック荷台で荷締め機を外していたところ、雪のため仮設材が凍っていたため滑って左手から落下。右膝をついたため、左手・右足の膝を骨折した。
15	資材置場にて積載形トラッククレーンで布板を積み込み中、布板に残っていたガラスの破片が上から落ちてきて目に入った。
16	資材置場にて4 t積載形トラッククレーンのクレーンを使って鋼管の整理作業を行っていた際、吊り下ろした鋼管のワイヤーを外したところ、鋼管が転がって右足の親指つけ根付近にあたり、骨折した。
17	資材置場に於いて、仮設用プレハブ材の修理の為、トラックからパネルを可動式ラックに積み倉庫へ運搬中、ラックの床が左足かかとに当たり負傷した。
18	家屋の塗装に伴う塗装用の足場工事において、資材置場で工事に使用する資材約50本程度トラックに積込作業中、資材の重さのために腰、背中に無理がいて痛めてしまい負傷しました。
19	工事現場で使用する型枠資材を当社資材置場内でトラックに積み込み作業中、資材に足をとられトラックの荷台から転落し腰部を打ち被災した。
20	会社の資材置場にてトラックの足場材料を降ろす際に、荷台を開けた時にパイプが数本流れ落ちてきて右足の小指に当り骨折した。
21	資材置場で50～60kgの重量サポートをトラックへ積み込むように二人で重ね直し梱包していた際、手を滑らせて右足の甲に落とし骨折した。

22	資材置場及び駐車場で、トラックの荷台で積み荷整理を行っていたところ、荷台から地面に転落、転落箇所にはパイプが置いてあり、首をぶつけ骨折した。
23	資材置き場で4 tトラックにおいて、トラックのあおりを下ろし、トラックの上から資材を降ろそうとしたところ、短めの木材で足を滑らせ、体のバランスを失い、トラックの荷台から約1 m下の地面に落下した。その際、地面に右手をついたため負傷し、翌日腫れていたため受診した。
24	資材置場で、貨物トラックに積んだ材料（鉄製の足場材）の上で作業をしている時に、雨で濡れていた為に滑ってしまい、1 m下のトラックの荷台に落下した。落下時に、左側の脇腹を踏み板の尖った部分に強打、左肋骨の1ヶ所を骨折し、1ヶ所にひびが入った。
25	機材センター内において資材を整理中、8 t積載形トラッククレーンから鉄板を降ろす為、鉄板の玉掛けを行い、ユニック車の荷台から降りる際に躓き、地面に右手から落下し、右手手首を負傷した。
26	足場を保管するヤードにてトラックからの荷卸し作業中に負傷する。ヤード整理のためトラックにて足場部材を積みヤード間を移動し整理作業中、約14kgの枠材を荷台より降ろす際、材料の重みで足を踏み外し荷台より落下し右かかとを負傷したもの。
27	足場材料置場にてトラック上の足場材の荷降しで材料を降ろした際、重みで腰に負担がかかり痛みが走った。
28	足場資材（鋼製布板）をトラックに積み込むため、フォークリフトで資材を持ち上げたところ、荷崩れして被災者に落下し負傷した。
29	足場部材積み込み作業中、右肩に足場部材を乗せ運んでいたところ、部材の後ろ側先端に倉庫のシャッターが当たり、部材のバランスが崩れ、その部材の角でヘルメットで覆われていなかった後頭部に当たり、打撲した。
30	土場において、トラックに足場材（鉄）を積み込んでいたところ、すでに積み込んでいた足場材がトラックから崩れ落ち、右足甲を直撃、負傷した。
31	1.8mの工事用足場の支柱を小型貨物車から荷下ろししていた際、手を滑らせ左足に落下、骨折した。

2 トラックの荷台への昇降時

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	機材センターにおいて仮設材返却時、荷解きをし角当てをとって荷の上から荷台に飛びおりた際（荷台から荷の高さ、50～60cm）、右足甲に少し痛みを感じた。翌朝、痛みと腫れがひどくなり病院を受診。
2	当社資材置き場にて、ダンプ車の荷台からパイプ（長さ3 m、重さ約5 kg）を降ろし、終了後ダンプの荷台から（高さ約2 m）地面（コンクリート）に足から飛び降りた際、バランスを崩し地面に尻を打ち付け負傷した。
3	資材置場で4 t積載形トラッククレーンの資材（看板・フェンス等）を降ろしたり、資材の片付け・整理をしていた時、4 t積載形トラッククレーンの荷台に登ったり降りたりしていたが、降りる時に荷台から飛び降りその際に右足のかかとを強打した。

4	会社の資材置場にて、単管（丸い筒状のもの）の荷降し作業中、4 t 積載形トラッククレーンの荷台（130～140cm程度の高さ）から飛び降りた際、右足首（くるぶし下）靭帯を切断し、負傷した。
5	ヤード内にて翌日の足場部材の積み込み作業をしていたところ、トラック荷台のアオリ（地上1.8m）の上に立ち、積み込んでいた部材を均し終えてアスファルトの地面に飛び降りたところバランスを崩し気味に両足着地した。

3 脚 立

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	資材センター倉庫内において棚上（高さ1.9m）にある樹脂袋を下ろすため、アルミ製脚立（高さ0.8m）を配置、2段目（高さ0.5m）に立ち樹脂袋を引いた際、力を入れすぎたため体勢をくずし通路に転び右膝を打ち負傷した。
2	資材倉庫にて作業車荷台に脚立をかけ、荷物を降ろそうとしたところ、バランスを崩し転落、左足を骨折した。
3	資材倉庫前で翌日現場の段取り業務中、脚立（2m95cm）の安全点検及び同僚への作業手順の教育中、脚立に上った時、下から7段目で体のバランスを崩して転落しそうになり咄嗟に倉庫の屋根に飛び移ろうとしたが、そのまま倉庫前の砂利部分に落下し負傷。
4	会社敷地内の資材置き場で、脚立から落下し右肩を強打した。痛みはあったが作業を続け、その後病院を受診。
5	会社資材置場にて片づけ作業中、脚立（120cm）の最上段に両足でまたがって置場の角材（長さ約300cm、9cm角）を動かそうとしたところ、バランスを崩して地面へ落下し、左肩を地面に強打し受傷した（事故時、ヘルメット着用）。
6	資材置場において、脚立に乗り道具の整理中、誤って足を踏み外して転落し、手をついた際負傷した。
7	資材置場の整理のため会社資材置場にて、天井下の棚に積んでいた木材を下ろすため脚立（7尺）に乗り木材（約10×25×200cm）を3本持って引き出したところ、木材が長くバランスを崩し、高さ150cm位の所からコンクリート床に左側から落ちて、左足首と左手等を負傷した。

4 梯子・階段

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	資材倉庫中2階より、資材の搬出作業のため階段を降りる際、バランスを崩して床コンクリートに右足踵を強打し負傷した。
2	資材倉庫内において当日の使用資材を車上積み込み中、階段で足を踏み外し転倒、腰を痛めた。
3	資材置き場において、被災者が梯子に乗ってパイプの整理をしていた時、バランスを崩し梯子から転落したため、左腕・左足・左側頭部を負傷した（2mの脚立の約1mの箇所から転落したもの）。
4	資材置場の物置2階に、養生シートを運ぶため階段を上っていたところ、足を踏み外し（高さ約2m）落下した。足から落下し、腰を負傷した。
5	本社内資材置場で現場に向かう準備作業中、資材を持って仮設階段を昇降していた時に、誤って体勢を崩し後ろ向きに中段から落下して両足を強打したもの。

5 フォークリフト

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	建築資材配達のための積み込み作業中、リフトの作業助手としてリフト周辺にいた。リフトが木材をすくうために資材置き場に移動を始めたので、手伝うためにリフトに近寄った。リフト運転手は作業助手が木材を持つために、木材の隣あたりに移動するものと予想しリフトを旋回させたが、作業助手はリフト後方にいたままであった。リフト運転手が後方にいる作業助手を目で確認したときには、すでにリフトの旋回が始まっていて、リフト右後輪で作業助手の両足つまさきを踏んだ。
2	工場敷地内、屋外の資材置き場において、リフトによる部材の移設作業中、倒れた部材を戻そうとしたところ、誤ってマストと部材の間に指を挟まれ骨折した。
3	資材置き場にて業務終了後、動いているリフトに気付かず接触。
4	社内資材置場にてフォークリフト作業中、リフトから降りようと左足から着地したところ、左足首をひねり靭帯を損傷した。
5	資材置場にて、材料の片付けをしている際、リフトに積んでいたアンチを支えていたところ、リフトが急発進した為、アンチが左足首に挟まり、右足首のふくらはぎが挟まってしまった。
6	ヤードにおいてトラックの荷台に足場材を積み込むため荷台を直そうとフォークリフトを運転していた社員がフォークリフトを止め、降りようとした時フォークリフトが前進していると勘違いをしてあわててしまい、ブレーキを踏むところアクセルを踏んでしまいフォークリフトが前進してフォークリフトとトラックの間に被災者が挟まれて負傷した。

6 転落

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	資材置き場にて、工事に必要な単管を取りに柵の上（高さ約2m）で作業中、バランスを崩し足を踏み外して転落。右足のかかとと右の鎖骨を打撲骨折したもの。
2	K邸回収工事にしようする資材の準備作業を事業主資材置き場で行い、仕分けをしたアンチパレット（1.9m×1.9m×高さ0.5m）2段の上でシートを掛けた後に飛び降りようとしたところ、つまづいてバランスを崩して後ろ向きに1.3mの高さから転落した。その時、地面に立ててある鉄筋杭（22mm×0.8m）が左の大腿に刺さった。
3	型枠資材置場で型枠用プラスチック再生ボードを積み上げた上に移動式クレーンで不要資材を仮置き作業中、足を滑らせ高さ2.3mより前のめりで倒れ落ちた時、地上にたてかけてあった角材9cm×9cm×長さ60cmに胸を強打した。
4	資材置場で資材整理中、高さ3m程の棚に乗って作業をしていたところ、足が滑り落下した。
5	運搬先資材置場にて大型ダンプの運転席（1.4m程度）より降りる際に、足を踏み外し転落。右足を強打した。
6	現場作業がなかったため、資材置き場の整理中、荷台に乗って資材を棚上に片付けていたところ、バランスを崩し落下。足をひねった状態で着地したため、左足首を骨折した。
7	置き場で棚に乗って足場用メッシュシートを運び出す作業中、誤って棚から転落し、右腕を骨折した。

7 転 倒

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	資材センター内で、コンパネをサイズ毎に棚に入れる作業を行っていたところ、コンパネを持ち上げ運んだ際に、足元にあった角材につまづき転倒、左膝を負傷した。
2	当社資材センター加工場内にて型枠加工作業中に少し暗くなってきたので片付け前に照明をつけに行こうとしたところ、横に加工材を置いていた敷台に右足を乗せてしまい、右足首を負傷した。
3	資材倉庫にて、型枠用のパネルを所定場所まで運び、次のパネルを取りに行こうとしたところ、パネルの下に敷かれた厘木に躓き転倒。咄嗟に左手をつき左手首を負傷したもの。
4	現場事務所横の資材倉庫に資材を取りに来た際トイレに行く為、倉庫とトイレの間に置いていたアルミ製梯子（3m梯子幅40cm）が1mほど入口面からはみ出していたので越えようとしたところ、梯子に足を掛けて転倒し左足を骨折した。
5	工場から資材倉庫に移動中、普段は凍っていない床が、寒くて薄氷が張ってあり滑って転び脊髄を骨折した。
6	資材倉庫にて材料パネル等の片付け作業中、門型クレーンのレールを跨ごうとした際、レールの上に被せてあったベニヤのつなぎ目に乗ってしまい、滑って仰向けに転倒、レールに左腰側をぶつけ負傷した。
7	資材倉庫の中2階部分において、ベニヤ板を確認しようとした際、バランスを崩し足を踏みはずしました。そのまま転落し、駐車車両に頭を打撲、床に転落しました。
8	資材倉庫にて、型枠用のパネルを所定場所まで運び、次のパネルを取りに行こうとしたところ、パネルの下に敷かれた厘木に躓き転倒。咄嗟に左手をつき左手首を負傷したもの。
9	資材置き場にて足場材を重ねて整理作業中、雪の下の足場材に気づかずその上を通ったところ滑って足場材と足場材の間に挟まり転倒。左ひざを負傷した。
10	資材置き場で2人作業で足場を運搬中、凍結した路面で転倒し、運搬中の足場が左ひざに落下し、骨折した。
11	資材置き場に敷いてある鉄板の上で足を滑らせ、傍にある単管パイプの柵に胸をぶつけて左肋骨を骨折した。
12	資材置き場にて、資材をトラックに積み込み中に、ころんで腕をぶつけた。その後痛みが引かなかった為、現場には出ず、資材置き場にて片付け作業を行っていたが、数日たっても痛みが引かずひどくなっていたので、病院に行ったところ骨折していると言われた。
13	資材置き場で、資材が載っているパレットに足が引っ掛かり転倒し、両手を強くついた為、両手の橈骨を骨折した。
14	会社資材置き場で、足場材を整理しながら積み上げていたところ、部材を支えようとして体制を崩してしまい右足靭帯を負傷した。
15	会社内にある資材置き場でフェンスを固定する際、近接する道路上から身を乗り出しバランスを崩して転落、側溝に右足首を激突させ負傷した。
16	工事関係書類を届けるため、当社資材置き場兼作業場に行き、同作業場で資材（型枠パネル）の整理作業をしていた当社職員に当該書類を渡し、簡単な連絡事項を話しながら立ち去ろうと後ずさりした際、後方に積んであった資材の台木につまづき転倒、このとき右足に体重がかかりつつ膝を捻ることとなり、同部位を負傷した。作業場の地面は、アスファルト舗装であった。◎被災者の身長、160cm・体重70kg

17	会社の資材置き場にあった、借りていた鉄板をレンタル屋に返しに行ったとき、鉄板を下ろそうと荷台から降りた時雨が降っていた為荷台が濡れており、足が滑りそのまま後方に転倒し負傷した。
18	資材置場で片付け作業中に鉄板に躓き転倒。転倒した際、丸太足場にぶつかり、丸太（長さ6m×直径15cm）が崩れ落ち下敷きになる。右腕でかばいきれず、右手首を骨折し右半身に重症を負う。
19	資材置場の片づけ作業をしている時に、1人で単管パイプを運んでいる際つまづき転倒し、右手を地面についたが手のつきどころが悪かったため右手首を骨折した。
20	資材置場にて部材整理の為手摺を運んでいたところ、躓いて転倒、その際持っていた部材に指を挟み右手環指を骨折した。
21	資材置き場でトラックから置場に足場板を運ぶ作業をしていたところ、雨で濡れていた地面で足を滑らせて転倒し、足場板と地面の間に左手薬指を挟んで開放骨折した。
22	工場内で足場資材のチェック作業中、床に敷いてある鉄板の継ぎ目に後ろ向きに歩いていて足を取られ、尻もちをつくのを防ごうとして転倒、右足首を捻り右足首（くるぶし）を骨折。
23	平坦な場所で足場板を運んでいる時に窪みがあり、その窪みに雪があり気づかずに入ってしまう左足首を負傷した。
24	資材置き場で2人作業で足場を運搬中、凍結した路面で転倒し、運搬中の足場が左ひざに落下し、骨折した。

8 はさまれ

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	資材センター内でパイプサポートを整備中、差込み管が急に降りてきて腰管と差込み管の受け板とに挟まり、右手中指内側の上部を裂傷した。（ヘルメット・顎紐・手袋着用）
2	資材倉庫にて角鋼管の整理をしていたところ、長さの違う鋼管があったため、束の中から引き抜こうとした際、後方に積まれていた角鋼管で右手小指を挟み負傷した。
3	資材置き場にて敷鉄板を積み重ね、片付け作業中、敷鉄板をユニック車で吊り上げ、所定の位置まで掴み誘導し、重ね合わせの際に、手を離さずそのまま敷鉄板と敷鉄板の間に右手示指を挟み、骨折した。
4	当社倉庫資材置き場において、3枚重ねてあった鉄板（約800kg）を移動させるため、1枚目と2枚目の間にボールを入れ、木片を挟み込む際、ボールが滑り、鉄板と鉄板の間に右手薬指先端が挟まれ負傷した。
5	会社資材置場で、棚上の手摺（長さ1.8m）を下に降ろそうとして、隣の手摺が引っ掛かり滑り落ちたので取ろうとしたら、後ろのあったトラックの荷台と手摺に指を挟み、左手人差指を開放骨折した。
6	資材置場で鉄板（1.5m×6.0m）を0.7m 3クレーン付バックホウで吊込作業中、鉄板を運搬車の荷台に載せ、被災者は吊りチェーンを外そうとフックに左手を掛けていたところ、クレーンの運転手がバケットを移動したため、被災者が手を掛けていた吊りチェーンが引っ張られ、フックの金具に左手親指が挟まれ被災した。
7	資材置場において、ダンプよりベニヤ板（900cm×1800cm、30枚の固まり）を降ろす作業中、被災者がベニヤ板を重ねる為角材（10cm×10cm×1m）を噛ませる準備をしていたところ、作業中の被災者に気付かず、フォークリフト運転手がリフトを下げたため、被災者の右手示指がフォークリフトと角材の間に挟まれ負傷した。腫れがひかなかったので受診したところ、右示指基節骨骨折と診断された。
8	資材置場で、500Aパイプを吊って移動させるのを手伝っていた時、吊っていたパイプを置く時にパイプがゆれてしまい、置いてあったパイプを移動させてきたパイプの間で左手の小指が挟まれて負傷した。

9	資材置場において積まれていた鉄板がずれていた為修正しようとした際、指を挟み左手親指を骨折した。
10	資材置場で、トラックに積んである足場材の荷卸し作業を行っていた。足場材をトラックの荷台に立て掛けようとしたときに、誤って荷台と資材の間に親指を挟んでしまい負傷した。

9 資材の落下

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	資材置き場にて片付け作業中、3.6メートル支柱の束30本にて結着してあった番線をカッターにて切断した際、1本支柱が下に落下し誤って自分の足に接触して負傷した。
2	資材置き場にてパイプの片づけをしていた。パイプをワイヤーで固縛し、重機にて吊り上げ移動していた。移動中吊り上げの重心がずれてパイプが傾き滑ってきて、そのパイプを止めようとしたとき被災者の膝に当たり受傷した。
3	資材置き場において工事準備のため、積み上げられたアンチ（高さ約2m50cm、1枚の重量約7kg、1枚の大きさ180cm×60cm）の上に乗し、下にいる従業員と組み下ろす作業をしていた。アンチを1枚持ち下に降ろそうとした際、他の金具に引っかかり誤ってアンチとともに落下し負傷した。
4	資材置場において、定位置へ型枠材（3.6m×90cm×5cm 桟木付き）積み上げ作業中、組んであったパイプが緩みはずれてしまい、上に載せてあった材が滑り落ち下で積み上げ作業をしていた被災者の背中に当たった。
5	資材置場で片づけをしている時にチェーンで丸まってある鋼矢板（28cm×2500cm×4mm）10枚束をバックホーで吊り降ろし作業中、2tダンプの外枠にあった右人差し指に鋼矢板が落下し骨折した。
6	会社資材置場にて、仮設材の鋼製足場用単管の整理作業をしている際、手を滑らし右足親指の上に落とし負傷した。痛みと腫れが引かず病院で検査を受けたところ、骨折していた。
7	会社資材置場において、小型移動式クレーンを用いて、軽量鋼矢板を移動荷上げを行っていた際に、ワイヤーが破断して荷が落下して、被災者の左足甲部が下敷きとなった。
8	資材置場で道具の片付け作業中、レバーブロック（約7kg）が棚から落下した。棚の近くで作業していたためレバーブロックが手の上に落ちて来て不全骨折した。
9	当社資材置場にて型枠用コンパネ（60cm×180cm×12mm）1枚を運搬作業中に手が滑り、両手で持っていたパネルを左足の甲へ落とした。安全靴を着用していたが、足の甲を負傷した。
10	会社資材置き場で足場部材をトラックから降ろす作業中に、前日の雨で部材が濡れていたため、手が滑り右足の上に落下した。
11	倉庫内2階材料置き場で、倉庫整理の為に足場材をクレーンで吊り上げ移動させている時、クレーンのフックにかけていたワイヤーが一方だけ外れ、足場材の片方が足の指に落ちてきて負傷した。
12	足場部材の分別を行っていたところ、支柱（長さ3800mm、重さ14.3kg）とパイプ（長さ4000mm、重さ11.0kg）が混ざって結束されている束の結束バンドを外し、パイプをかついだ時に支柱が崩れ、支柱2本が右足甲に落下した。

10 資材の崩壊

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	資材センター場内に於いて、返却された足場の筋交いの本数を確認中、番線を少し緩めたところ番線が外れてしまい、被災者の方へ崩れ落ち左足を負傷した。

2	資材置き場で積み上げた鋼管をクレーンで吊り上げ、トラックに積み込み作業中、隣の列の積み上げた鋼管の上に乗っていた被災者の鋼管が崩れて左足を直撃し、左足甲を骨折した。
3	資材置き場で足場支柱（SA-27.2700mm）を10列にして10段まで積み上げて一束にする作業中（手作業）7段まで積み上げた所、前後に積み上げた支柱が崩れ落ち、膝辺りから下の両足を支柱で挟まれた。
4	資材置き場にて、足場材の片づけを2人でしていた。門型の足場材を1mほどの高さに積み上げたところ、四隅についているピンに引っかかり荷崩れが発生し、右足くるぶしからふくらはぎの間を挟み負傷した。
5	資材置場にて資材片付け中に足場板が崩れ出し、後ろから倒れ左手をつき肩を負傷した。
6	資材置場にて角材及び厚ベニア等を整理中、積み上げた資材が荷崩れして指を挟まれて負傷した。
7	足場板整備場において、置き場内の足場板を束ねる結束用番線をカッターナイフで切断して検収作業を行っていた際に、安定が悪く15段積みの足場板が倒れて来て左親指に当たり、左手親指を打撲した。
8	土場倉庫で片付けをしているとき、足場パイプが倒れてきて背中にあたり負傷した。

11 工 具

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	機材センター内で、曲がってしまったネットクランプ（ボルト）をハンマーで叩いて直そうとしたところ、ハンマーが滑ってボルトを持っていた左中指に当ててしまい負傷した。
2	資材置場にて片付け用籠作成中、サンダーカッターで加工施工中に、サンダーカッターが跳ねて、右腕にあたり裂傷を負った。
3	資材置場で残材処理作業中に、サンダーで切断作業をしていた時、サンダーがはねて足に当たり負傷。
4	駐車場の資材置場で道具の整備中に電気ドリルのスイッチを入れた時に勢いよく動き、そのままひねって右手首を右舟状骨骨折した。
5	工場内に於いて、プレス機で建築用足場の部品（クサビ）の両端の穴あけ作業中に、クサビの安定が悪かったので手作業で直していた時に、誤ってプレス機のペダルを踏んで、左手の4指（親指を除く）を裂傷した。
6	資材置場において、建築用足場の設置・解体研修中、部材をハンマーを使用して外していたところ、右手を強打し負傷したもの。

12 熱中症

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	屋外の資材置き場にて、型枠組立作業を行っていたところ、熱中症となった。
2	日中、資材置き場に於いて材料片付け作業をしていた所、退社後に高熱、痙攣を発症した。
3	足場資材片付け中、熱中症による意識不明に陥ったため、鉄骨階段に倒れこんだ。その際、左側頭部及び左肘骨を強打し負傷した。

13 その他

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	機材センター内プレス仕分け場にて、プレス仕分け作業中に、仕分け台の上の未整備品が終わり、次の未整備品を作業台に載せる間に、手が空き、作業台にぶらさがり遊んでしまい、作業台が倒れて下敷きになった。
2	資材置き場で資材の整理作業中、積み重ねられている単管の長さを揃えようと手をかけようとした時、下に積み重ねられている単管（鉄製パイプ、直径50mm、長さ2m、重さ6kgで中は空洞）に左足を取られ引っかけて靭帯が伸び負傷したものの。
3	資材置き場から当該箇所に吊荷（鋼製布板L=1.8、11枚）をクレーンで移動中に、吊荷のバランスが崩れて型枠加工作業を行っていた被災者に荷が落下し被災した。
4	資材置き場において、積載形トラッククレーンを使用して資材整理をしていたところ、クレーンで鉄板（1.6×3m、880kg）を吊り上げた際にその重みで車体が傾き、脇に立って操作していた当人の方へ倒れてきた。そのため車体（運転席と荷台の間）と地面の間に左半身を挟まれた状態になり左肋骨を骨折する等負傷し間もなく死亡した。
5	資材置場にて足場の上で足場を組む作業をしていたところ、足を踏み外して単管の上に脇から落下し肋骨を骨折した。
6	会社資材置場において資材の整頓中、鉄板を移動させるため同僚がバックホーを操作していたが停止していると思いゴミを取ろうと手を出したところ、鉄板とバックホーのバケット爪に軍手の上から左手指先を挟まれ負傷した。
7	資材置場にて資材の整理を行っていた際、次の作業に取り掛かろうと振り向いた瞬間、飛び出していた資材（足場材）に脇腹を強打し、肋骨を骨折した。
8	資材置場で足場材や工具の片付け作業中、工具の入った木箱（縦30cm横40cm、長さ50cm重さ35kg位）を持ち上げようとした時、腰に激痛が走り、その後作業を中止し安静にしていたが、痛みが強くなり、翌日病院へ行った。
9	朝から雨が降っていたため当社の資材置場で整理整頓中、古くなったシートをカッターで切っていたところ手を滑らせて左手の小指を負傷した。
10	1階資材置場整理の為2階より降りた際、側溝の蓋につまずき右足の甲を負傷した。
11	勤務終了後、資材置場にててんかんの発作を起こし仰向けに転倒、後頭部を強打し、前頭部頭蓋内出血を負った。
12	会社資材置き場で、足場材を整理しながら積み上げていたところ、部材を支えようとして体制を崩してしまい右足靭帯を負傷した。
13	工場内で建設足場材の検収作業中、普段通り中腰の姿勢で筋違を降ろしたところ腰部を痛めてしまい急性腰痛症と診断された。
14	工所用資材仮置場所足場材の整理作業を行っていた時に、小型移動式クレーンのリモコン操作を行ったことで吊り荷が揺れたため、揺れを抑えようと手を添えた際に据え置きしていた資材と積み荷の間に指を挟み右手第4指を負傷した。
15	敷地内にて足場材を引き取り作業中に吊り上げた材料をトラックの荷台の上で移動させ、入るか入らないかを確認する為、荷台の上をスケールで計っていたところ、吊荷のバランスが崩れて斜めになり、下にあった材料に当たりその後、腰にぶつかってしまい打撲を負った。